

令和6年産水稻種子の休眠性について

作物研究センターより、「令和6年産のコシヒカリBL種子の休眠はやや深いと推定される」との情報提供がありましたのでお知らせします。

【作物研究センターが実施した発芽率試験成績を基に推定】

- 1 供試サンプル
作物研究センター産のコシヒカリBL
- 2 試験実施時期
令和7年1月15日から1月22日
- 3 発芽試験方法
種子粃を水温12℃、積算水温100℃を目安に浸種後、プラスチックシャーレに置床し、7日後に正常発芽率を調査した。
- 4 結果
コシヒカリBLは休眠がやや深いと推定される。

【今後の対応について】

- 浸種水温、期間については、通常では水温10～15℃で積算水温100℃であるが、令和6年産BL種子は休眠がやや深いと推定されることから、発芽揃いを良くするため浸種水温12℃、積算水温120℃を目安に浸種する（十分に給水した種粃は粃殻が透きとおったアメ色になる）。また、浸種初期の水温が低いと発芽不良になり易いので、10℃未満の低水温にしないよう注意し、酸素不足にならないよう十分な水量を確保し、水の更新を適切に行う。
- 近年、ばか苗病の発生が非常に多くなっている。ばか苗病は、発病したら薬剤で防除する方法がないため、適確な種子消毒剤の選定により、「発病させない」ことが重要である。
温湯消毒のみの場合、種子消毒剤に比べてばか苗病の防除効果が劣るので、微生物農薬との体系処理を行う。

【長岡普及指導センター TEL 0258-38-2557】